



町営住宅の
現場管理を
しています!
詳しくは17ページへ

R ifuTown
assembly

6月定例会

- 特集 2
議員全員で町内公共施設を視察
議会活性化への取り組み 4
町民の声をさらに反映する町政へ
追跡レポート 16
学校給食費無料化への取り組み
いきいき活動 18
「しらかし台健康麻雀サロン」を紹介

議会だより



町内施設8か所を

視察研修

議会では、町の公共施設等の稼働状況などの把握を目的に、令和8年4月から6月にかけて、視察研修を実施しました。

町営住宅の建替現場

新工法の導入で、工期の短縮が図られ経費を抑えられるとの説明を受けました。また、順調に工事が進んでおり、現在工事中の第1工区は令和9年2月、第2工区は令和11年3月に竣工予定です。



完成イメージです

原水調整槽

各深井戸から浄水場へポンプ圧送している「原水調整槽」の場所を確認し、原水の安全管理が適切になされていることが確認できました。



みんなのお昼ポテト館 学校給食センター

当日の給食を試食し、地場産品や旬の食材活用の説明を受けました。調理の体制や機材等の衛生管理が徹底されていました。



消防団東部分団詰所

1階の車庫には消防ポンプを常備し、2階には待機スペースを設けています。



陸上自衛隊利府射撃場

この様な施設は県内でも少なく、貴重な施設との説明がありました。市街地から離れた場所にあり、安全対策が徹底されていました。



ごみ処理施設 宮城東部衛生処理組合

施設の概要やごみ搬入状況の推移、資源物の分別施設と作業状況を確認しました。



し尿処理施設 塩釜地区環境センター

微生物の力を利用した分解処理や殺菌などの工程を経て、下水道に放流されており、安全に処理されていることが確認できました。



ごみ埋立施設 宮城東部衛生処理組合

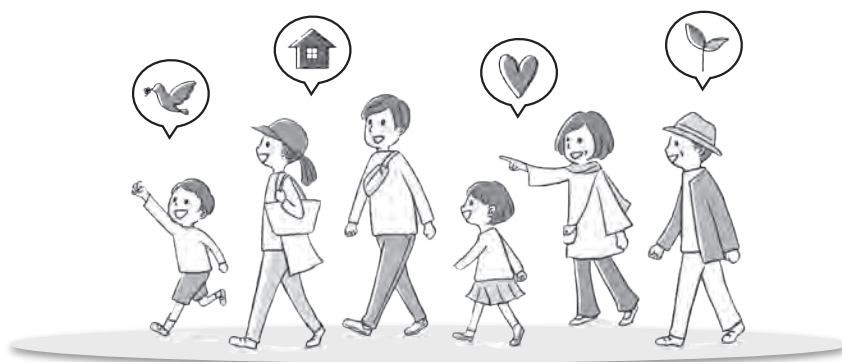
ごみ処理施設の焼却灰や燃やせないごみなどが、遮水対策を施した埋立地に、適切に処分されていました。



町民の声を さらに反映する町政へ

ともに創る、
未来の利府町

利府町議会では、町民に開かれた議会への取り組みを強化するため、「議会活性化特別委員会」を設置し、議会機能の充実及び議会改革の調査・検討を進めています。



自治体が抱える課題は、人口減少、防災、福祉、子育て、公共施設の維持など複雑化しており、議会にもこれまで以上に政策提案機能や説明責任が求められています。
また、町民意見を適切に政策へ反映する仕組みを整えていくことも重要であると考えています。
そのため、左記の内容の取り組みを進めています。

私たちが目指す議会の姿



町民の声を聴く議会

多様な意見を丁寧に受け止め、町政に反映します。



議論を深め、 提案する議会

町の課題を調査・研究し、解決に向けた提案を行います。



わかりやすく、 開かれた議会

情報を積極的に発信し、町民に身近な議会を目指します。



災害に強く、 信頼される議会

非常時にも機能を維持し、町民の暮らしを守る役割を果たします。

町民の皆さまとともに、より良い利府町の未来を創っていきます

利府町議会の議会改革

議会をもっと身近に!

1 町民意見をさらに反映します!

①政策形成過程の関与

政策形成の過程から議会として論点整理や提案ができる仕組みを検討し、町民意見を政策へ反映しやすくします。

②予算・決算審査の充実

資料確認や調査研究の時間を確保し、町民目線で議論できる運用方法を検討します。



2 議会の活動を見える化します!

議会だよりにとどまらず、SNS等を活用した情報発信を強化し、議会活動を広く周知します。



3 災害時の対応を強化します!

災害時においても議会機能を継続できるよう災害時対応マニュアルを見直し、議会BCP(業務継続計画)として再整理を進めます。



4 みんなで一緒に考える場を作ります!

住民の皆さんと一緒に、地域の課題や町の未来を考える機会をつくれます。議員による出前講座やこども議会、イベントでの出張相談などを通して、町民の皆さんが町政に関心を持ち、参加しやすい取り組みを進めます。



5 これも改革します!

- 議会基本条例の見直し
- 外部アドバイザーの導入
- 通年議会の導入
- 議会選出監査委員制度のあり方
- ハラスメント防止条例の制定
- なり手不足解消等に向けた議員報酬のあり方の検討など
- 政治倫理条例の見直し

町民の皆さまへ

議会は、町民の皆さまの代表として、町の課題に取り組む場です。皆さまの声がより良い町政につながります。どうぞお気軽にご意見をお寄せください。皆さまの声を、これからの町づくりに活かしていきます。



540万円増

令和8年度
一般会計補正予算
2350万円を追加し
総額 **157億円**



利府の名産の梨を守ります

歳出 540万円増

果樹生産拡大推進事業

問 申請は何件見込んでいますのか。

答 梨農家2戸が実施する圃場造成と新植事業に対する補助金である。事業内容は、約6400㎡の圃場に256本、約1200㎡の圃場に194本の梨の木を植える予定である。



問 昨年も同様に補正予算で計上されている。申請の動向把握は、どのように行っているのか。

答 相談が今年の3月だったため、当初予算に計上できなかった。

令和8年度一般会計予算に2350万円増額し総額157億350万円とするものです。

■一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正（追加）

事業名	期間	限度額	理由
スポーツ施設等指定管理事業	令和9年度から13年度まで	9億2678万円	指定管理者制度による管理運営を継続するため追加
西部児童館指定管理事業	令和9年度から13年度まで	2億4199万円	
東部児童館指定管理事業	令和9年度から13年度まで	2億2644万円	

歳入（収入）

項目	補正額	理由
コミュニティ事業助成金	+2250万円	（一財）自治総合センターコミュニティ助成事業が採択されたため増額
ふるさと応援寄附基金繰入金	+340万円	お試し移住体験住宅改修事業へ充当するため増額
地域未来交付金	+551万円	窓口業務サービスの利便性向上事業や新たな産業創出、人材育成のため国から地域未来交付金が採択されたため増額

歳出（支出）

項目	補正額	理由
果樹生産拡大推進事業補助金	+540万円	梨畑の生産拡大推進事業により増額
一般コミュニティ助成事業	+250万円	菅谷二部町内会に補助金を交付するため増額
コミュニティセンター助成事業	+2000万円	大町町内会集会所建設に伴う補助金を交付するため増額
業務委託料	+300万円	マンガ等を活用したまちづくり事業による支援業務委託料
工事請負費	+340万円	お試し移住体験住宅温浴施設（サウナ）改修工事にかかる費用
事務用備品購入	+757万円	マイナンバーカードで証明書が発行できるマルチコピー機の購入

果樹生産拡大推進に

歳出
340万円
追加

移住体験住宅温浴施設改修工事

問 工事の概要は。

答 既設のサウナが現在使用できない状態となっていることから改修工事を行う。

問 サウナ部屋を別の用途に使う検討はしなかったのか。

答 寄附を受けた施設の機能を適切に維持したいと考えている。

問 入浴設備はあるのではないか。

答 お風呂はある。



写真はイメージです



施設内の現在のサウナ



浜田地区にある「e-ハマハウス」の1人用のサウナを改修します

歳出
757万円
追加

マルチコピー機購入

問 マイナナンバーカードで証明書が発行できるマルチコピー機を購入するとの説明である。目的は。

答 コンビニ交付が年間約1万件ある。庁舎に設置した場合、全体の1割から1・5割が利用するというデータがある。

問 リース方式は検討したのか。

答 国からの交付金を前提にしている。リースの場合、交付金はないことから購入することとした。

歳出
300万円
追加

マンガ等を活用したまちづくり事業

問 事業の目的と内容は。

答 若年層の町外流出や町内企業の人材不足という地域課題に対して、アニメや漫画を活用し、新たな産業創出や人材育成を目指す。内容としては、デジタル漫画体験、デジタル塗り絵体験を行う。

討論

一般会計補正予算

反対

必要性の無いサウナの改修に納得できない



浅川 紀明

賛成

一部事業だけで予算全体は否定できず予算は適切に計上されている



鈴木 晴子

RIFU暮らし応援商品券配布

令和7年度予算を令和8年度へ繰り越し



問 商品券をまだ受け取っていない世帯・個人は。

答 166通が宛先不明で返送され、配布できていない。配布率は98.9%である。

問 受け取れない場合の対応は。

答 ゆうパックで配送しているが、郵便局の保管期間が7日間である。未受領世帯に関しては現地確認を行うなど、商工会と連携して配布していきたい。

Number 報告5号 **報 告**

令和8年1月臨時会で議決された「RIFU暮らし応援商品券配布事業」を令和8年度に繰り越したことの報告です。

マイナンバーカードの申請・更新事務が郵便局でも

利府郵便局と利府青山郵便局を指定



問 2つの郵便局を指定するに至った経緯は。

答 マイナンバーの有効期限が5年であり、令和2、3年に交付したカードの更新が令和8年度にピークを迎えることになる。本庁の窓口の混雑緩和と、役場から離れた地域の利便性を高めるため指定したいと考えている。

Number 議案38号 **議 案 審 議**

マイナンバーカードの更新等に関する事務を取り扱う郵便局として、利府郵便局及び利府青山郵便局を指定する議案です。

議案審議

 さくらい あきひこ 櫻井 昭彦 氏	 わたなべ かたし 渡邊 賢 氏	 しょうじ やすのぶ 庄司 安伸 氏
 あかま りょういち 赤間 良一 氏	 すずき はまこ 鈴木 ハマ子 氏	 いとう しんいち 伊藤 信一 氏
 ごうけ ゆりこ 郷家 百合子 氏	 おばた やすこ 小幡 康子 氏	 たかはし のぶひろ 高橋 信博 氏

農業委員会委員

町内農業関係団体の推薦、公募によって選出された9人を町長が任命し、全員の任命に同意しました。

任期は、令和8年7月20日から3年間です。



人 事

監査委員

庄司 英夫氏（新任）

しゅうじ ひでお

任期満了となる監査委員の選任に同意しました。

監査委員は識見を有するものと議員の中から選任されるものの2人で構成されています。

任期は、令和8年6月20日から4年間です。

令和8年6月定例会 採決状況一覧

○賛成 ×反対 議長(永野 渉)は採決に加わらない。

議 案	郷 右 近 佑 悟	皆 川 祐 治	伊 藤 司	鈴 木 晴 子	須 田 聡 宏	高 木 綾 子	金 萬 文 雄	土 村 秀 俊	鈴 木 忠 美	羽 川 喜 富	浅 川 紀 明	今 野 隆 之	小 淵 洋 一 郎	高 久 時 男	永 野 渉	結 果 (賛成：反対)
報 告 第 3 ～ 8 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承 認 第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認(14:0)
議 案 第 30～32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(14:0)
議 案 第 33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	可決(12:2)
議 案 第 34～38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(14:0)
議 案 第 39号	無記名投票による														—	同意(14:0)
議 案 第 40～48号	簡易表決による														—	同意(14:0)

令和8年6月定例会提出議案 29件（報告6件、承認1件、議案19件、請願3件）

報告3 専決処分

役場敷地内の駐車場において、職員が公用車を駐車する際に車両に接触し損害を与えたため、相手方と和解したことを報告

報告4 継続費繰越計算書

町営住宅建替事業を令和8年度に通次繰越したことを報告

報告5 繰越明許費繰越計算書

令和8年1月臨時会及び3月定例会で議決した2件の事業を令和8年度に繰越したことを報告

8ページに記事

報告6 事故繰越し繰越計算書

明神沢溜池改修事業において、堤体脇から地下水が発生し埋め戻し作業のため令和8年度に繰越したことを報告

報告7 水道事業会計予算繰越計算

配水管布設替事業2件を令和8年度に繰越したことを報告

報告8 下水道事業会計予算繰越計算書

雨水排水設備整備事業外1件を令和8年度に繰越したことを報告

承認2 専決処分

地方税法等の一部を改正する法律の一部が令和8年4月1日に施行されたことに伴い、課税上、緊急を要したため、地方自治法の規定により利府町町税条例及び利府町国民健康保険税条例の一部改正を専決処分

議案30 町税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が3月31日公布されたことに伴い、専決処分を除く箇所の改正

議案31 特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

東日本大震災復興特別区域法等の規定の免除に係る適用期間が2年間延長されたため、条例も同様の改正を行う

議案32 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行による、こども家庭庁関係内閣府令の施行に伴い、満3歳以上限定小規模保育事業の基準を定めるための改正

議案33 令和8年度一般会計補正予算

6,7ページに記事

議案34 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算

議案35 令和8年度介護保険特別会計補正予算

議案36 令和8年度水道事業会計補正予算

議案37 令和8年度下水道事業会計補正予算

議案38 特定の事務を取り扱う郵便局の指定

個人番号カード用電子証明書の更新等に関する事務を取り扱う郵便局として、利府郵便局及び利府青山郵便局を指定

8ページに記事

議案39 監査委員の選任

庄司英夫氏の選任に同意

8ページに記事

議案40～48 農業委員会委員の任命

農業委員9人の任命に同意

8ページに記事

請願1 子ども・子育て支援金制度の創設に伴う支援納付金に係る保険料負担が実質負担増とならないよう国に財政支援措置等を求める請願

教育福祉常任委員会に付託

請願2 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める請願

総務企画常任委員会に付託

請願3 国民健康保険財政への定率国保負担の増額を求める請願

総務企画常任委員会に付託

一般質問

我が町政を問う

一般質問とは議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質^{ただ}すことです。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含みません。

浅川 紀明 P11

- 平和教育の現状と公正
- 謙虚に町民の声に傾聴する町長の覚悟
- アレルギー対応学校給食

須田 聡宏 P11

- 部活動の地域展開

高久 時男 P12

- 防犯灯管理の今後
- 行政文書の配布方式
- 北部地域包括支援センターの老朽化

小淵 洋一郎 P12

- 大規模山林火災の対応
- 児童生徒の安全対策

郷右近 佑悟 P13

- 自転車利用環境の整備

今野 隆之 P13

- 通知表運用のあり方
- 孤独・孤立対策

金萬 文雄 P14

- 带状疱疹予防接種への助成
- 地域公共交通対策

鈴木 晴子 P14

- 公園を利用したドックラン設置
- 孤独死対策

土村 秀俊 P15

- 中東情勢による物価高騰・資材対策への対応
- 不登校への支援

質問と答弁を要約した内容は、11ページから15ページです。質問項目の3項目以降はこのページでタイトルだけの紹介です。なお、全文記録(議事録)は9月中旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。



一般質問



あきかわ のりあき
浅川 紀明



質問者の動画が見られます

平和教育

なぜ
質問？

町の平和教育の状況は

沖縄での平和教育の際に発生した女子高生死亡事故を踏まえ、小中学校における公正・健全な平和教育がなされているかを質問しました。



偏向のない健全な教育を

問 学校でどのような平和教育を実施しているのか。
答 学習指導要領に基づき、平和や国際協力の大切さを教えている。
問 教育の公正・健全性をどう担保しているのか。
答 学習指導要領を基本に、指導のねらいを明確にした計画や、校長の授業観察で授業力を評価し担保している。

問 公正・健全な教育の実施は
答 学習指導要領を基本としている

町民の声への傾聴

なぜ
質問？

町長はより謙虚に

町長は当選直後の施政方針で「今後は町民の声にこれまで以上に耳を傾ける」と表明しました。改めて取り組みと覚悟を質しました。

問 町民の声を聞く決意は

答 傾聴は町長としての原点である

問 より謙虚に町民の声を聞くための取り組みと決意は。
答 町民の声を傾聴することが町長としての原点であり、全ての施策の出发点と強く認識している。
問 傾聴するだけでなく、各種会合で情報発信することも肝要では。
答 あらゆる機会に利府町をPRしてまいりたい。



議員のつぶやき…

公正・健全な公教育実施のため、新教育長のリーダーシップに期待します。

一般質問



すだ あきひろ
須田 聡宏



質問者の動画が見られます

部活動の地域展開

なぜ
質問？

教員の働き方に直結

地域展開は指導者確保などの課題が多く、司令塔である町が果たす役割は大きいと考え、提案しました。



町全体で支えるスポーツと芸術文化

問 部活動顧問の業務は多い。業務内容を分類して顧問募集ができないか。
答 参考にして進める。
問 活動場所確保の見通しは。
答 令和8年度に町内のスポーツ少年団やスポーツ協会、スポーツクラブへ丁寧の説明し、協力を得られるか確認する。

問 活動機会を確保する方策は

答 既存団体に受け入れを促す

問 生徒の活動機会を確保するための方策は。
答 新たな地域クラブの整備を支援するとともに、既存団体へ生徒の受け入れを働きかけていく。また、土日は別の活動を選択できるようにすることも方策の一つと考えている。
問 保護者が負担する費用の目安は。
答 保護者アンケートでは、月10000円からは、30000円程度だったが、国からの目安を踏まえていく。



議員のつぶやき…

「町はひとつの学校」のスローガンをより意識し、具現化する時が来ました。

防犯灯の管理

なぜ質問？

防犯灯は町が管理すべき

防犯灯は公共インフラである。約3000灯ある町内会管理の防犯灯は、電気料金を含め町が直接管理すべきと考え質問した。

問 耐用年数経過後の交換はどうするのか

答 灯具交換は町内会が行う

問 防犯灯は令和4年から10年間のリース契約となっている。耐用年数の15年後は、新たな灯具を再リースするのか。
答 リース契約終了後は町内会へ無償で譲渡し、その後の維持管理は町内会が行う契約である。
問 行政区長会からの要望はないのか。
答 令和7年10月に管理に関する要望があった。



議員のつぶやき…

町内会という地縁団体にいつまでも頼っている行政では、いけないと思います。

行政文書の配布方式

なぜ質問？

行政配布物は業者委託にすべき

町は、町内会へ行政文書や回覧物の各戸配布を委託しているが、この方式では町内会の負担が大きいため質問した。



配布物が多く町内会は大変です

問 令和4年に行政文書の提案をしたが、配布文書の軽減は図れたか。
答 軽減に努めているが文書の総量は横ばいである。
問 町内会活動の7割は町の仕事だ。配布の業者委託は調査・検討したのか。
答 業者委託した場合、1.7倍の経費増になる。実施は見送ったが、検討していく。

問 配布物の業者委託は検討したのか
答 経費増になるため実施を見送った



たかくときお 高久 時男



質問者の動画が見られます

児童生徒の安全対策

なぜ質問？

プールでの事故を未然に防ぐ

高知や京都の事故は、水泳授業の指導・監視体制から起こりました。その教訓を活かしてプールでの事故を未然に防ぎたいと考え質問しました。

問 水泳授業の教員の配置指導体制は

答 指導教員や監視の教員を配置している

問 水泳授業は学年単位で実施しているのか、それともクラス単位なのか。
答 学校ごとに異なるが、小学校では学年単位で実施するケースが多い。最低でも、指導者1名に加え、監視を行う教員1名を配置している。



議員のつぶやき…

山林火災は、人的な消火能力を簡単に超えてしまう。普段からの危機管理意識が重要。

大規模山林火災

なぜ質問？

火災の発生を未然に防ぐ

岩手県大船渡市・大槌町の大規模山林火災の教訓を踏まえて、火災の発生を未然に防ぐことが重要と考え質問しました。



一人一人の注意が山林火災を防ぐ

問 山林火災の多くは人為的な原因によるものである。乾燥・強風時における山林火災を防ぐため、広報・啓発やパトロールなど、より具体的な取り組みが必要ではないか。
答 消防関係機関と協議し、山林火災の未然防止に効果的な広報・啓発のあり方を調査していく。

問 山林火災を未然に防ぐ対策は
答 関係機関と対策を協議していく



おぶちよういちろう 小淵 洋一郎



質問者の動画が見られます

一般質問



郷右近 佑悟



質問者の動画が見られます

自転車利用環境の整備

なぜ質問？

安全に自転車利用できる環境を

道路交通法改正で自転車の交通違反に青切符が導入されたが、安全な走行環境が整っていないと思い質問しました。



快適な自転車利用環境を

問 自転車専用レーンや、矢羽根型路面標示を整備する考えはないか。
答 町道の幅員などを考慮すると整備は現実的ではない。先日、第3次自転車活用計画が閣議決定された。また、レーン整備などが全国的に増加している。今後、県と情報共有や協議を行う。

問 自転車の安全通行の環境整備は町道全般の維持管理に努める
答 町道全般の維持管理と安全確保に努める。
問 自転車利用が安全に通行できる道路環境を、今後どのように整備していくのか。
答 不鮮明になっている路側線などを引き直し、町道全般の維持管理と安全確保に努める。
問 白線が消えている箇所も多く、一度に全てを整備するには相当の時間を要すると考える。今後どのように進めるのか。
答 優先順位を随時見直しながら、5年程度を一つの区切りとして計画的に整備を進めていきたい。



議員のつぶやき…

自転車利用の環境が良くなることは、歩行者の安全にもつながると確信しています。

一般質問



今野 隆之



質問者の動画が見られます

通知表運用のあり方

なぜ質問？

通知表年2回導入の効果等検証

通知表の年2回変更に伴い、教育現場や保護者への影響、十分な検証の必要性、学校としての説明責任、そして今後のあり方を質問しました。



安心して学べる教育環境づくりへ

問 通知表運用見直しの検証は
答 面談で補完しており検証は行わない
問 通知表を年2回発行することへの運用変更は、教育委員会と協議し、関係者へ説明するべきだったのでは。
答 学校長に委ねられる事項である。
問 通知表の運用見直しは、教職員や保護者への調査で検証すべきでは。
答 面談等で補完しており、検証は行わない。

孤独・孤立対策の推進

なぜ質問？

孤独・孤立予防支援体制の推進

孤独・孤立を重大な地域課題と捉え、支援力の育成や地域全体で支える予防・早期支援のあり方を質問しました。

問 ※スティグマ解消を図るべき
答 広報等で意識啓発に取り組む

問 スティグマの解消に取り組むべきでは。
答 広報や人権啓発活動等を通じ意識啓発に取り組んでいく。
問 孤独・孤立予防を教育の場ではどのように捉えているか。
答 志教育など日々の教育活動を通じて取り組んでいる。



議員のつぶやき…

教員の業務量管理計画策定と説明責任ある教育行政が必要です。

※スティグマ
属性や状況に対する偏見や思い込み

地域公共交通対策

なぜ
質問？

住民要望に即した次期計画に

交通事情や施設環境の変化に伴って、住民ニーズも変わっています。令和11年度からの次期公共交通計画に向けた町の考えを質問しました。

問 ミヤコーバス減便への対応は

答 mobi 停留所を増やす予定

問 ミヤコーバスが減便し、梨が丘住民は塩釜への通院などが困難になっている。対応策は。

答 伊保石にmobiの停留所を増やす予定である。

問 東部地区の公共交通計画は。

答 令和7年度の東部地区アンケート結果に基づき、利用目的別の交通手段を次期計画に入れる。



議員のつぶやき…

路線バスの減便や車の免許返納の増加など、町の公共交通対策は一層重要です。

带状疱疹予防接種

なぜ
質問？

接種費用は県内で一番高い

予防効果が高い組換えワクチンの接種費用は、3万円以上と高額なため、他自治体と同じ2万円程度にし、接種しやすくしたいと考えました。



効果の高いワクチンを多くの方に

問 他自治体と同様の自己負担額に減額を協議をしていく

問 自己負担軽減の二市三町の協議結果は。

答 ※他のB類疾病の予防接種と同様に自己負担額は、ワクチン価格相当額と決定した。

問 高額で接種を諦める人も出ている。住民や医師からの減額要望もある。他自治体並みに自己負担減額の検討を。

答 協議をしていく。



こん まん ふみ お
金 萬 文 雄



質問者の動画が見られます

※B類疾病定期接種
高齢者インフルエンザなど、予防接種法に基づく定期接種のこと。本人が希望する場合に実施され、費用の一部は自己負担。

孤独死対策

なぜ
質問？

見守り強化が必要

自宅で孤独死された人は昨年度全国で約7万8千人で、交通事故死の約30倍です。高齢者単身世帯の見守り強化対策を質問しました。

問 緊急通報システムの見直しを

答 デジタル関係の見守りを含め検討

問 町では独居世帯に緊急通報システムを提供しているが、内容の見直しが必要ではないか。

答 デジタル関係での見守りができないかなどを含め検討している。

問 日中のみ独居となる人への対応も必要である。

答 町に合った体制を検討していく。



議員のつぶやき…

だれもがその地域で生きがいを持って暮らせるまちづくりをと思い提案しました。

ドックランの設置

なぜ
質問？

ドックラン設置への町の見解を質す

公園にドックランを設置する自治体が増えてきています。地域への効果が注目されている一方、マナーなどの心配もあり、町の見解を質しました。



みんなが気持ち良く利用できる環境を

問 調査・研究を進めては

答 民間団体等の支援・協力も研究

問 トラブル防止、マナー向上、地域コミュニティ形成などの観点から公園へのドックラン設置の必要性の調査・検討を進めてはどうか。

答 町で運営管理する手法だけにとらわれず、民間団体等の支援、協力体制も視野に入れ調査・研究していきたい。



すず き はる こ
鈴 木 晴 子



質問者の動画が見られます



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画が見られます

中東情勢の影響への対応

なぜ質問？

資材不足への町の支援策

中東情勢の影響で商工業者や農漁業者、医療機関等が資材不足や価格高騰等で深刻な状況にある町の支援を質問しました。



影響は大丈夫か

問 中東情勢の影響で、住民税や国保税の支払いが困難になる場合、減免や支払猶予などの支援策が必要ではないか。

答 地方税法等では災害や著しい収入減少など一定の要件に該当する場合の徴収猶予や減免規定などがある。今後、国・県の支援策の動向を注視する。

問 中東情勢の影響への支援策は減免規定など国・県の動向を注視する

不登校への支援

なぜ質問？

より一層の支援を

不登校は全国で35万人を超え、利府町でもコロナ時から増加に転じているので、町としても不登校対策に、より一層の力を入れるよう質問しました。

不登校児童生徒への支援策は

個々に応じた支援を実施している

問 不登校児童生徒の改善に向け、町として力を入れて取り組んできた施策の現状とその効果は。

答 新たに不登校相談専門員を配置した。不登校の実態等をヒアリングし個々に応じた具体的な支援を実施している。登校に不安がある児童生徒の保護者の相談体制も整えている。



議員のつぶやき…

専門家の協力で、子どもも親も安心できる支援を期待します。

委員会活動レポート

各委員会の主な活動を紹介します。

議会活性化特別委員会

登米市議会の議会改革を視察研修

●議会基本条例

登米市議会基本条例は、住民参加・住民意見の政策化・議会改革の継続の仕組みまで書き込んだ条例となっていました。広聴活動で得た住民の意見を「政策及び課題」として整理し、政策立案等を行うために、政策企画調整会議を設置できるとしています。住民意見を政策提言につなげることを明文化しています。

●町民の声を聴く取り組み

登米市議会では、商業施設へ出向いて意見交換を行うなど、広聴のあり方も工夫を重ねていました。一方で、参加者の固定化や、意見交換会が要望中心になりやすいという課題も共有されました。本議会でも、より幅広い町民の声を聴くため、意見交換の方法やテーマ設定、町民が気軽に議会と接点を持てる場づくりをさらに検討していきます。

●その他の取り組み

通年議会の運営、ハラスメント防止条例、議会アドバイザーの活用などの取り組み状況も参考になりました。



県内の中でも議会改革が進む登米市議会と活発な意見交換を行いました

●考察

町民に開かれた議会を目指すためには、議会内部のルール整備だけでなく、町民に議会活動を分かりやすく伝え、意見を聴き、政策につなげる仕組みが重要です。今回の視察で得た内容を参考に、利府町議会の活性化に向けた検討を進めていきます。

第69回

追跡レポート

あの
提言は？

これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったかを追跡してみました。

学校給食費無料化への取り組み

令和元年12月定例会

答

児童生徒の健康の保持・増進のために実施するものである。

問

令和2年4月から、小学校6年生と中学校3年生に限り、学校給食費を無料化すると提案があった。しかし、同時に、食材費の高騰、栄養量不足の解消のため、他の学年は、値上げするとの説明だった。学年を限定し無料化するのであれば、その財源を、値上げを抑えるために使う考えはないか。

平成30年3月定例会

答

国の政策の流れを見逃さず、対象者の段階的な実施等も念頭に置き、財政状況も勘案し、早期の実現に向け検討していく。

問

学校給食費無料化は町長の公約である。国も公立小中学校の給食費無料化の全国調査を2017年から行っている。財源や実施時期は。また、学年を区切るなど段階的な実施の考えは。

令和6年
3月

全会一致で可決

令和6年4月から中学1年生と2年生が新たに免除になる条例案が提出されました。

令和4年
12月

全会一致で可決

令和5年4月から中学3年生と小学6年生の給食費免除の条例案が提出されました。

令和4年9月定例会

答

制度開始時の学年単位の公平性を考慮すると、2学年に対する全額補助が望ましいと考える。

問

全学年を対象とし、給食費の一部を補助すべきと考えるがどうか。

令和元年
12月

賛成少数で否決

中学3年生と小学6年生の給食費免除の条例案が提出されました。

令和6年6月定例会

答

登校した日いつでも給食を食べられるよう、保護者の判断により給食の配食を停止していない児童・生徒も多いことを御理解願いたい。

問

町の学校給食費無料化事業では、不登校児童・生徒の保護者は対象外となっている。対象とすべきでは。

令和6年3月定例会

答

拡大に向け検討を進めていきたい。また、引き続き国に強く働きかけていく。

問

小中学校全学年無料化を検討しては。

令和8年
3月

全会一致で可決

国の方針で小学校全学年が無償化となりました。それに伴い、小中学生全学年の給食費免除の条例案が提出されました。

不登校児童・生徒も免除されます。

町営住宅建替現場の現場代理人



全員野球で培った、
チームワークで
頑張っています

橋本店グループ 株式会社橋本店
現場代理人 高橋 真生さん

Q1. 建設の仕事をやってみたいと思ったきっかけは。

A1. 子どものころから建築の仕事をしたいと思っていました。特に、東日本大震災で壊れた建物を見た時、「強い建物を造りたい」と思ったことがきっかけです。

Q2. 仕事を始めて何年になりますか。また、これまで大変だったことは。

A2. 12年になります。特に大変だったのは、福島県双葉町での庁舎工事です。短い工期の中で完成させなければならず、とても苦労しました。

Q3. 仕事の中で一番気を付けていることは何ですか。

A3. 工事現場での安全管理を重視しています。また、工事現場に出入りする車両をできるだけ少なくし、周辺にお住まいの方々へ配慮することも大切にしています。



Q6. 町民の皆さまに一言お願いします。

A6. 町の大事な施設です。皆さんに喜んでいただける施設となるよう、一生懸命進めてまいります。皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

利府町生まれ、利府町育ち

令和8年度から始まった町営住宅建替事業の建設現場で、現場管理をしている高橋さんにインタビューしました。高橋さんは、利府町で生まれ育ち、現在も利府町に住んでいます。生まれ育った町の町営住宅建設に携わることへの熱い思いが伝わってきました。



Q4. 仕事をする中で「うれしかった」「よかった」と思うことはどんなことですか。

A4. この町営住宅の工事が社内で話題になった時、私は別の現場を担当していましたが、自分が住む町の仕事に携わりたいという強い思いがありました。担当に決まった時は、とてもうれしかったです。また、4歳の息子が父親の仕事をわかるようになってきたこともあり、自分の仕事を息子に見せたいという気持ちもありました。今回、そのチャンスが巡ってきたと感じています。

Q5. 趣味を教えてください。

A5. 子どもとポケモンカードで遊ぶことや、家族で楽天球場に行くことです。小学校から大学生まで野球をやっていました。大学時代は、ファーストで5番打者でした。



仕事も野球も全力投球

しらかし台 健康麻雀サロン



lively activities

Vol 41

いきいき
活動

元気な活動は元気なまちへ

町内で活動している団体やサークルを紹介しています。
また、議会に対する意見もいただきました。



みんなで楽しく！
みんなで健康に！



分館長の提案で

「会が始まったきっかけは

「高齢者が楽しく集える居場所づくりをしよう」と、前公民館分館長から声かけがあり、7人が集まりました。その後、3人が増えて10人となり、令和4年12月にスタートしました。麻雀卓や牌を個人で持ち寄り、「健康麻雀サロン」として始めました。

しらかし台以外の人も

現在の会員数は

30人です。近隣の青山・青葉台地区の会員もいます。

和気あいあいと楽しく

活動内容は

毎週水曜日にサロンを開催しています。麻雀卓を囲み、近況報告をし合いながら、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しんでいます。午前の部は9時から12時まで、午後の部は1時から4時までです。

午後の部は人数が

足りない時も……

予定表を1か月前に作成し、日程を調整しています。会員数は多いものの、午後の参加者が少ない時があり、1卓分のメンバーが足りない場合は、役員が声をかけて人数をそろえています。声をかけて来てくれた人にも、待っていた人にも喜んでいただけるので、役員冥利につきます。

皆さんに喜んで

もらっています

活動を通して良かったことは

皆さん明るく元気に通ってくれており、「毎日の生活に張り合いが出た！」と喜びの声が上がっています。女性の会員もおり、「やってみたいとおもしろかった！」と言われ、喜んでいただけてうれしい限りです。

お楽しみの麻雀大会

3月と9月に麻雀大会を開催しています。日頃の活動の成果を発揮する場であるとともに、会員同士の交流を深める楽しみの一つにもなっています。大会では賞品も用意し、参加する皆さんの励みになるよう工夫しています。勝敗だけにこだわらず、張り合いのある大会となるようにしています。

それでも賞品がかかる
と真剣になって、皆さん
優勝目指してがんばって
います。賞品は全員もら
えますけれど(笑)。

支援の拡充を

町への要望は。

町の「高齢者居場所づくり事業」の支援を受けて、麻雀卓を6台そろえることができました。ただ、会員数が30人なので、あと1卓あれば全員分を用意できます。補助金の充実をお願いしたいと思います。

健康で仲良く続けたい

今後の展望は。

現在の会員数は、ちょうどよい人数です。このまま皆で、健康で仲良く続けることができればいいなと思っています。

議会だよりに一言。

いつもは目を通す程度ですが、妻は読んでいるようです。全国コンクールでの優勝歴もあると伺いました。これからも編集を頑張ってください。



時間を忘れて楽しんでいます



和気あいあいと居場所づくり!

麻雀は初めてでしたが、教えてもらって楽しんでいます



高齢者がもっと参加できる
取り組みがいっぱいあれば良いですね



女性も楽しめるのでぜひ参加してください



みんなで楽しくこの時間を
過ごしています



ばい
牌をツモるたびに
ワクワクします



高齢者の居場所
づくりになっています



第34回 MOA美術館全国児童作品展
絵画の部 銅賞
利府町文化芸術功績賞 受賞



かさい くみ か
笠井 くるみ さん
(利府西中学校3年生)

声 VOICE



受賞した作品「バナナのキモチ」



もし、ウサギと人間の二面性を持つ生き物が存在したら、どんな世の中になるんだろう？

インタビューテーマ

「町の鳳雛へインタビュー」

受賞おめでとうございます。
絵を描くことの魅力を教えてください。

ぎかい

幼い頃から絵を描くことが好きでした。心の色を表現できることや、自分の好きなものだけで世界をつくれることが、絵を描く魅力だと思います。

作品は、どのような思いで描きましたか。

ぎかい

バナナが熟し、今にも落ちそうな瞬間を逃さずに描きたいと思いました。

工夫して描いた部分はどこですか。

ぎかい

バナナの奥行きを出すようにしたところです。

絵を描いている時は、どのような気持ちでしょうか。

ぎかい

自分が楽しんで描けているかどうかを大切にしています。

勉強と絵を描くことは、どのように両立していますか。

ぎかい

勉強を頑張った自分へのご褒美として絵を描いています。

将来の目標や夢は何ですか。

ぎかい

将来は、学校の先生になりたいです。そのために必要な学力や知識・技能を身につけられるよう、頑張っています。

選挙や政治への考えはいかがでしょうか。

ぎかい

18歳になったら選挙権を持つことになります。住民の声に耳を傾け、生活に寄り添ってくれる人に投票したいと思います。

利府町への思いを教えてください。

ぎかい

私は、大人になっても利府町に住み続けたいと思っています。空気が澄んでいて、優しい人たちがたくさんいる町だと思います。町民として誇れる、活気のある町になってほしいと思っています。

ほうすう 鳳雛とは：将来すぐれた人物になることが期待される子どものこと。



発行 利府町議会

編集・発行責任者／議長 永野 渉

編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 副委員長 金萬 文雄

委員 高久 時男 小淵 洋一郎
高木 綾子 郷右近 佑悟

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万4800部作成し、1部あたりの印刷製本費は約24円です。



利府町議会のホームページ
もご覧ください

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は、**9月1日(火)**から**9月11日(金)**
を予定しています

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。